

平成 23 年度 第 7 回キッズ・モニターアンケート

「健康意識について」のキッズ・モニターアンケートを実施したところ、その結果は以下のとおりでした。

アンケートにご協力いただいたキッズ・モニターの皆さんにお礼を申し上げます。

1 アンケート概要

(1) 実施期間

平成 24 年 1 月 16 日から平成 24 年 1 月 29 日まで

(2) 回答の状況

- ・ 対象者数 291 人
- ・ 回答者数 154 人
- ・ 回答率 52%

2 アンケートの結果について

Q1 あなたの年代について

アンケート回答者の属性は、小学生 76 人(49.4%)、中学生 55 人(35.7%)、高校生 23 人(14.9%) でした。

Q2 あなたは「たばこ」についての授業などを受けたことがありますか。

授業を受けたことがある人は 93 人(60.4%)、受けたことがない人は 61 人(39.6%) でした。

属性別でみると、次のような結果でした。

「たばこ」についての授業を受けた割合は、中学生以上から高い傾向がみられます。

属性	はい(%)	いいえ(%)	合計(%)
小学生	32(42.1)	44(57.9)	76(100)
中学生	40(72.7)	15(27.3)	55(100)
高校生	21(91.3)	2(8.7)	23(100)
合計	93(60.4)	61(39.6)	154(100)

p 値 0.00001

Q3 受動喫煙（じゅどうきつえん。他人の「たばこ」のけむりを吸い込むこと）という言葉を知っていますか。

「はい」と答えた人は100人(64.9%)、「いいえ」と答えた人は54人(35.1%)でした。

属性別でみると、次のような結果でした。

「受動喫煙」について知っていると答えた人は、「たばこ」についての授業を受けた人数よりも多いことから、「受動喫煙」の社会的な認知度が高まっていると考えられます。

属性	はい(%)	いいえ(%)	合計(%)
小学生	33(43.4)	43(56.6)	76(100)
中学生	46(83.6)	9(16.4)	55(100)
高校生	21(91.3)	2(8.7)	23(100)
合計	100(64.9)	54(35.1)	154(100)

p値 0.00000

Q4 受動喫煙が健康に悪い影響を与えることをしていますか。

「はい」と答えた人は139人(90.3%)、「いいえ」と答えた人は15人(9.7%)でした。

属性別でみると、次のような結果でした。

「受動喫煙」が健康に悪い影響を与えることを知っている人は、すべての属性において高い傾向がみられ、言葉の認知度とともに、健康に悪影響を与えることについても認知されつつあると考えられます。

属性	はい(%)	いいえ(%)	合計(%)
小学生	64(84.2)	12(15.8)	76(100)
中学生	52(94.5)	3(5.5)	55(100)
高校生	23(100.0)	0(0.0)	23(100)
合計	139(90.3)	15(9.7)	154(100)

p値 0.03347

Q5 喫煙が健康に与える影響について、知っているものはどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。

もっとも認知度が高かったのは、「吸い始める年齢が早ければ早いほど、がんや心臓病などで死亡する危険が高くなる。」で、123人が知っていると答えました。

次に多かったのは、「未成年からの喫煙は習慣になりやすく、なかなかやめられない。」で92人が知っていると答え、以下、「脳が酸素欠乏状態になり、思考力や集中力が落ちる。」は89人、「酸素が身体中にいきわたらなくて身長が伸びにくくなる。」は76人、「身体が酸素欠乏状態になり、若いのに息切れする。」は59人が知っていると答えました。

また、「たばこ」についての授業を受けたことがある人、ない人でそれぞれの健康影響についての認知度をみてみると、いずれにおいても、「授業を受けたことがある」人のほうが知っていると答えた割合は高い結果となりました。

Q5-1 未成年からの喫煙は習慣になりやすく、なかなかやめられない

	知っている	(%)	知らない	(%)	総計	(%)
授業を受けたことがある	62	67.4%	31	50.0%	93	60.4%
授業を受けたことがない	30	32.6%	31	50.0%	61	39.6%
総計	92	100.0%	62	100.0%	154	100.0%

Q5-2 酸素が身体中にいきわたらなくて身長が伸びにくくなる

	知っている	(%)	知らない	(%)	総計	(%)
授業を受けたことがある	52	68.4%	41	52.6%	93	60.4%
授業を受けたことがない	24	31.6%	37	47.4%	61	39.6%
総計	76	100.0%	78	100.0%	154	100.0%

Q5-3 身体が酸素欠乏状態になり、若いのに息切れする

	知っている	(%)	知らない	(%)	総計	(%)
授業を受けたことがある	44	74.6%	49	51.6%	93	60.4%
授業を受けたことがない	15	25.4%	46	48.4%	61	39.6%
総計	59	100.0%	95	100.0%	154	100.0%

Q5-4 脳が酸素欠乏状態になり、思考力や集中力が落ちる

	知っている	(%)	知らない	(%)	総計	(%)
授業を受けたことがある	63	70.8%	30	46.2%	93	60.4%
授業を受けたことがない	26	29.2%	35	53.8%	61	39.6%
総計	89	100.0%	65	100.0%	154	100.0%

Q5-5 吸い始める年齢が早ければ早いほど、がんや心臓病などで死亡する危険が高くなる

	知っている	(%)	知らない	(%)	総計	(%)
授業を受けたことがある	77	62.6%	16	51.6%	93	60.4%
授業を受けたことがない	46	37.4%	15	48.4%	61	39.6%
総計	123	100.0%	31	100.0%	154	100.0%

Q6 あなたの家族や一緒にくらしている人で、たばこを吸っている大人はいますか。

「はい」と答えた人は54人(35.1%)、「いいえ」と答えた人は100人(64.9%)でした。

属性別でみると、次のような結果でした。

属性	はい (%)	いいえ (%)	合計 (%)
小学生	23 (30.3)	53 (69.7)	76 (100)
中学生	22 (40.0)	33 (60.0)	55 (100)
高校生	9 (39.1)	14 (60.9)	23 (100)
合計	54 (35.1)	100 (64.9)	154 (100)

p値 0.46653

Q7 あなたは、未成年者の飲酒防止についての授業などを受けたことがありますか。

「はい」と答えた人は83人(53.9%)、「いいえ」と答えた人は71人(46.1%)でした。

属性別でみると、次のような結果でした。

属性	はい (%)	いいえ (%)	合計 (%)
小学生	25 (32.9)	51 (67.1)	76 (100)
中学生	39 (70.9)	16 (29.1)	55 (100)
高校生	19 (82.6)	4 (17.4)	23 (100)
合計	83 (53.9)	71 (46.1)	154 (100)

p値 0.00000

Q8 あなたは、大人からお酒を勧められたことがありますか。

「はい」と答えた人は22人(14.3%)、「いいえ」と答えた人は132人(85.7%)でした。

属性別でみると、次のような結果でした。

属性	はい (%)	いいえ (%)	合計 (%)
小学生	6 (7.9)	70 (92.1)	76 (100)
中学生	13 (23.6)	42 (76.4)	55 (100)
高校生	3 (13.0)	20 (87.0)	23 (100)
合計	22 (14.3)	132 (85.7)	154 (100)

p値 0.03894

Q9 未成年者の飲酒が健康に与える影響について、知っているものはどれですか。あてはまるものすべてえらんでください。

もっとも認知度が高かったのは、「成長期の体の発達に悪い影響を及ぼす。」で、122人が知っていると言いました。

次に多かったのは、「急性アルコール中毒になりやすい。」で88人が知っていると言え、以下、「成長期の脳細胞をこわしたり発達を妨げる。」は75人、「アルコール依存症になりやすい。」は70人が知っていると言いました。

また、「飲酒防止」についての授業を受けたことがある人、ない人でそれぞれの健康影響についての認知度をみると、いずれにおいても、「授業を受けたことがある」人のほうが知っていると言った割合は高い結果となりました。

Q9-1 成長期の体の発達に悪い影響を及ぼす

	知っている	(%)	知らない	(%)	総計	(%)
授業を受けたことがある	72	59.0%	11	34.4%	83	53.9%
授業を受けたことがない	50	41.0%	21	65.6%	71	46.1%
総計	122	100.0%	32	100.0%	154	100.0%

Q9-2 成長期の脳細胞をこわしたり発達を妨げる

	知っている	(%)	知らない	(%)	総計	(%)
授業を受けたことがある	49	65.3%	34	43.0%	83	53.9%
授業を受けたことがない	26	34.7%	45	57.0%	71	46.1%
総計	75	100.0%	79	100.0%	154	100.0%

Q9-3 急性アルコール中毒になりやすい

	知っている	(%)	知らない	(%)	総計	(%)
授業を受けたことがある	56	63.6%	27	40.9%	83	53.9%
授業を受けたことがない	32	36.4%	39	59.1%	71	46.1%
総計	88	100.0%	66	100.0%	154	100.0%

Q9-4 アルコール依存症になりやすい

	知っている	(%)	知らない	(%)	総計	(%)
授業を受けたことがある	48	68.6%	35	41.7%	83	53.9%
授業を受けたことがない	22	31.4%	49	58.3%	71	46.1%
総計	70	100.0%	84	100.0%	154	100.0%

Q10 あなたの家族と一緒に暮らしている人で、お酒を毎日飲んでいる大人はいいますか。

「はい」と答えた人は70人(45.5%)、「いいえ」と答えた人は84人(54.5%)でした。

属性別でみると、次のような結果でした。

属性	はい(%)	いいえ(%)	合計(%)
小学生	30(39.5)	46(60.5)	76(100)
中学生	31(56.4)	24(43.6)	55(100)
高校生	9(39.1)	14(60.9)	23(100)
合計	70(45.5)	84(54.5)	154(100)

p値 0.12825

また、大人からお酒を勧められたこととの相関をみると、次のような結果でした。

	大人からお酒をすすめられたことがある	(%)	大人からお酒をすすめられたことはない	(%)	総計	(%)
家に毎日お酒を飲む人がいる	16	72.7%	54	45.5%	70	100.0%
家に毎日お酒を飲む人がいない	6	27.3%	78	54.5%	84	100.0%
総計	22	100.0%	132	100.0%	154	100.0%

p値 0.00552

まとめ

(1) たばこについて

今回の調査結果から、たばこが与える健康影響についての知識は概ねどの年代においても認知されてきていることが示唆されました。

また、たばこが健康に与える影響について、たばこについての授業を受けていることも一定の効果があると思われませんが、統計的な有意差は見いだせませんでした。

(2) アルコールについて

アルコールが与える健康影響についての知識は、飲酒防止についての授業を受けことがある人とない人とで有意に差がありました。

このことから、未成年者の飲酒防止についての授業が一定の効果があることが示唆されます。

また、家に毎日お酒を飲む人がいる場合は、いない人と比べて「大人からお酒をすすめられる」リスクが高い傾向がみられました。未成年をアルコールの害から守るのは大人の役割です。